

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月17日 (2011.3.17)

【公開番号】特開2008-268880(P2008-268880A)

【公開日】平成20年11月6日 (2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2008-22362(P2008-22362)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 5 2

G 0 9 F 9/00 3 3 8

G 0 9 F 9/00 3 0 1

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板の上に順に、第 1 電極と、有機層と、第 2 電極と、を含む有機発光素子を形成し、前記第 2 電極の上に第 1 封止層を形成する工程と、

前記第 1 電極と第 2 電極との短絡部位において、少なくとも前記第 1 封止層と前記第 2 電極とをレーザーを照射することにより除去する工程と、

第 2 封止層を前記除去された部位に形成する工程と、を有することを特徴とする有機発光装置の製造方法。

【請求項 2】

絶縁部材を前記除去された部位に充填する工程を有し、

前記第 2 封止層を形成する工程は、前記絶縁部材の上に形成する工程であることを特徴とする請求項 1 に記載の有機発光装置の製造方法。

【請求項 3】

前記第 2 電極及び前記第 1 封止層は、光透過部材であり、

前記除去する工程は、前記第 1 封止層側から行うことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の有機発光装置の製造方法。

【請求項 4】

前記第 2 封止層を形成する工程は、局所 C V D 法により行うことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の有機発光装置の製造方法。

【請求項 5】

前記絶縁部材を充填する工程は、インクジェット法により行うことを特徴とする請求項 2 に記載の有機発光装置の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、ディスプレイ、あるいは光源、照明等に用いられる有機発光素子（有機エレクトロルミネッセンス素子）を有する有機発光装置の製造方法に関するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

そのために本発明の有機発光装置の製造方法は、
基板の上に順に、第 1 電極と、有機層と、第 2 電極と、を含む有機発光素子を形成し、
前記第 2 電極の上に第 1 封止層を形成する工程と、
前記第 1 電極と第 2 電極との短絡部位において、少なくとも前記第 1 封止層と前記第 2 電極とをレーザーを照射することにより除去する工程と、
第 2 封止層を前記除去された部位に形成する工程と、
を有することを特徴とする。